

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08219541
PUBLICATION DATE : 30-08-96

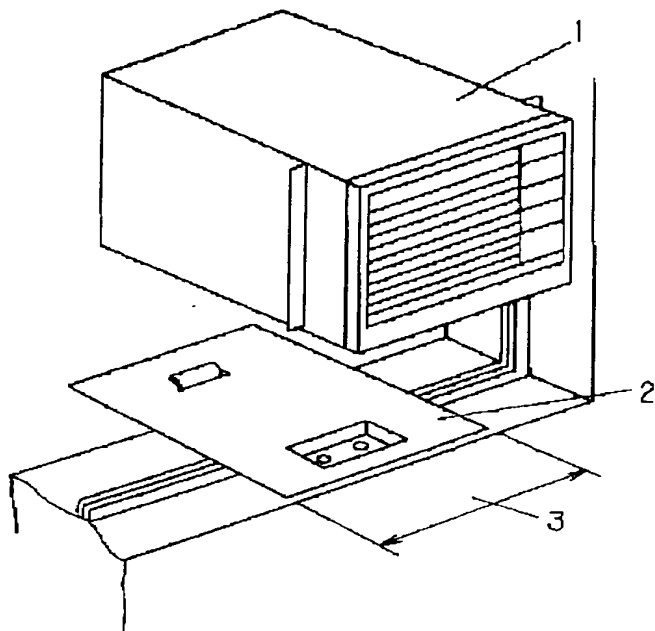
APPLICATION DATE : 09-02-95
APPLICATION NUMBER : 07021903

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : ISEMURA NOBUHISA;

INT.CL. : F24F 13/32

TITLE : MOUNTING PLATE FOR WINDOW
MOUNTED AIR CONDITIONER



ABSTRACT : PURPOSE: To determine the longitudinal position of an article upon mounting the same, and hence facilitate mounting work and simultaneously more secure anchoring of the article for an improvement of safety of the mounting by securing longitudinal safety upon mounting the article and mounting the article by applying the article to a folded part of a rear edge of a mounting plate.

CONSTITUTION: In a mounting plate 2 for mounting an air conditioner on a window, the plate is more widened than the width of an article 1. Further, part of the plate is extended to the width of the article 1 including a lateral frame of the same.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

Best Available Copy

[illegible]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-219541

(43) 公開日 平成8年(1996)8月30日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F 1

技術表示箇所

F 2 4 F 13/32

F 2 4 F 1/02

4 2 6

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平7-21903

(22) 出願日

平成7年(1995)2月9日

(71) 出願人

000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者

伊勢村 修久

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74) 代理人

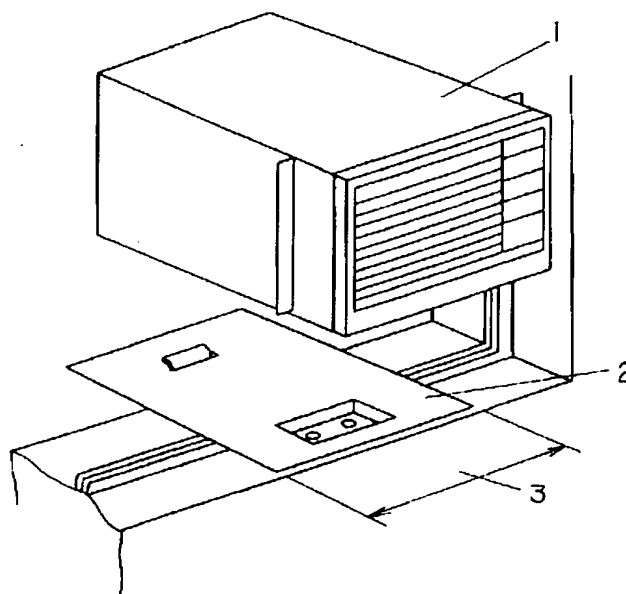
弁理士 小鍛治 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 窓据え付け用エアコン据え付け板

(57) 【要約】

【目的】 製品搭載時の左右方向の安定性を確保し、また、据え付け板後縁の折曲げ部に製品を当てて搭載することによって、前後方向の製品搭載時の位置が決まり、容易に作業が出来ると同時に、製品の固定をより強固なものとせしめ、安全性を向上させるものである。

【構成】 窓に据え付けるための据え付け板において、製品の巾よりも広くしたものである。さらにその一部を製品の左右フレームを含む巾まで伸ばしたものである。



Best Available Copy

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ウィンドエアコンを窓に据え付けるための据え付け板において、前記据え付け板の巾を製品の中よりも広くしたことを特徴とする窓据え付け用エアコン据え付け板。

【請求項2】 ウィンドエアコンを窓に据え付けるための据え付け板において、前記据え付け板の一部を製品の左右フレームを含む巾まで伸ばしたことを特徴とする請求項1記載の窓据え付け用エアコン据え付け板。

【請求項3】 ウィンドエアコンを窓に据え付けるための据え付け板において、前記据え付け板の前縁を下方へ、その後縁を、製品の後縁位置に合わせて上方へ曲げたことを特徴とする窓据え付け用エアコン据え付け板。

【請求項4】 ウィンドエアコンを窓に据え付けるための据え付け板において、前記据え付け板の前縁を下方へ、その後縁を、製品の後縁位置に合わせて上方へ曲げたことを特徴とする請求項1、または請求項2記載の窓据え付け用エアコン据え付け板。

【請求項5】 窓に据え付けるための据え付け板において、窓枠前面に合うように折曲げ部を有し、かつ製品の左右フレーム後面が窓枠前面に合うように一定の位置に固定穴を有して製品を固定することが出来る請求項1、2、3、4のいずれかに記載の窓据え付け用エアコン据え付け板。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、窓に据え付けるときのエアコン用据え付け板に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、図6に示すように、窓に据え付けるときのエアコン用据え付け部材は、窓枠に直接ネジ等で固定をする、または窓枠に直接載せるか、もしくは窓枠の高さよりも高いスペーサを用いて固定する構造とされていた。

【0003】 さらに据え付け板の巾は、製品の巾寸法よりも小さく、さらに、一枚の板で形成されており、しかも製品の固定はビスによって固定していた。

【0004】 またさらに窓からの左右の位置は製品の左右に設置するフレームの巾の分を考慮して、寸法測定をする、もしくは仮止めをするなどの準備作業をおこなってから作業を進める必要があった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、上記従来の据え付け部材の場合、部品の巾寸法よりも小さいため、安定性に欠け、さらに、一枚の板で形成されていて、強度的に不足となっていた。しかも製品の固定はビスのみによる固定であり、十分な固定の強度を有していなかった。

【0006】 またさらに、窓からの左右の位置は製品の左右に設置するフレームの巾の分を考慮して、寸法測定

をする、もしくは仮止めをするなどの準備作業が必要であり、手間のかかる作業となっていた。

【0007】 そこで本発明は、製品を搭載した際にも左右の安定性を確保するとともに、据え付け板の強度を向上させることを目的とするものである。

【0008】 さらに本発明は、据え付け作業を容易に行えることを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決（目的を達成）するために本発明は、窓に据え付けるための据え付け板において、製品の中よりも広くしたものである。

【0010】 さらにその一部を製品の左右フレームを含む巾まで伸ばしたものである。またさらに据え付け板の前縁を下方へ、その後縁を、製品の後縁位置に合わせて上方へ曲げたものである。

【0011】 またさらに、窓に据え付けるための据え付け板において、据え付け板前縁に折曲げ部を設置し、かつ製品の左右フレーム後面が窓枠前面に合うように製品を固定することが出来るようにしたものである。

【0012】

【作用】 従って本発明によれば、製品の巾寸法よりも広くした据え付け板の巾によって、製品搭載時の左右方向の安定性を確保することができる。

【0013】 また、据え付け板後縁の折曲げ部に製品を当てて搭載すれば、前後方向の製品搭載時の位置が決まり、容易に作業が出来ると同時に、製品の固定をより強固なものとして、安全性が向上する。

【0014】 また、その一部を製品の左右フレームを含む巾まで伸ばすことによって、窓にこの伸ばした部分を当てて固定すれば製品搭載時に左右フレームを含む前巾と窓が一致し、左右方向について、寸法測定や仮止め等の準備作業を行う必要がなく容易に据え付け工事を行うことが出来る。

【0015】 さらに据え付け板後縁の折曲げ部に合わせ、前後方向は折曲げ部を窓枠前面に合わせれば、製品の左右フレーム後面と窓枠前面が一致し、前記左右方向の固定方法と併せて、前後、左右共に、寸法測定や仮止め等の準備作業を行う必要がなく容易に据え付け工事を行うことが可能となる。

【0016】

【実施例】 以下、本発明の一実施例について図面を参考にして説明する。

【0017】 まず、図1により、本発明の第1の実施例について説明する。図1において、1は製品であり、2は据え付け板である。この据え付け板の巾3は製品の中よりも広くしてある。このため製品1を搭載した時の安定性が確保される。

【0018】 次に、図2、図3により、本発明の第2の実施例について説明する。図2において、据え付け板2において、更にその一部を製品1の左右フレーム4を含

む巾まで伸ばしている。これにより据え付け板2を窓5の内面に当てることによって、製品1搭載時に、左右フレーム4の端が窓5と一致し容易に作業を行うことが出来る。

【0019】次に、図4により、本発明の第3の実施例について説明する。図4において据え付け板2の前縁は下方へ曲げている、さらに後縁は上方へ曲げている。これにより据え付け板自体の強度を増すことが出来る。さらに製品1搭載時には後縁折曲げ部5に製品を当てることによって位置が決まり、作業が容易に出来ると共に、設置完了時の安定性を向上させることが出来る。

【0020】次に、図5により、本発明の第5の実施例について説明する。またさらに、据え付け板2において、窓枠前面8に合わせて折曲げ部9を設置し、かつ製品の左右フレーム4後面が窓枠前面8に合うように製品1を固定することが出来るようにしたものである。

【0021】また、その一部を製品1の左右フレーム4を含む巾まで伸ばすことによって、窓5にこの伸ばした部分を当てて固定すれば製品搭載時に左右フレーム4を含む全巾と窓5が一致し、左右方向について、寸法測定や仮止め等の準備作業を行う必要がなく容易に据え付け工事を行うことが出来る。

【0022】さらに据え付け板後縁の折曲げ部6に合わせて、前後方向は折曲げ部9を窓枠前面8に合わせて、製品の左右フレーム4後面と窓枠前面8が一致し、前記左右方向の固定方法と併せて、前後、左右共に、寸法測定や仮止め等の準備作業を行う必要がなく容易に据え付け工事を行うことが可能となる。

【0023】

【発明の効果】上記実施例により明らかなように、本発明は、据え付け板の構造において、製品搭載時の左右方向の安定性の確保を実現するものである。

【0024】また、左右方向について、寸法測定や仮止

め等の準備作業を行う必要がなく容易に据え付け工事を行うことを可能にするものである。

【0025】また、前後方向の製品搭載時の位置決めを容易にすると同時に、製品の固定をより強固なものとし、安全性を向上させるものである。

【0026】またさらに、製品搭載時に左右フレーム後面と窓枠前面を一致させ、同時に左右方向の窓と左右フレームの巾とを一致させることで、前後左右の方向において、寸法測定や仮止め等の準備作業を行う必要がなく容易に据え付け工事を行うことを可能とするものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を示す据え付け板の斜視図

【図2】本発明の第2の実施例を示す据え付け板の斜視図

【図3】図2矢視Aにおける矢視図

【図4】本発明の第3の実施例を示す据え付け板の斜視図

【図5】本発明の第5の実施例を示す据え付け板の平面図

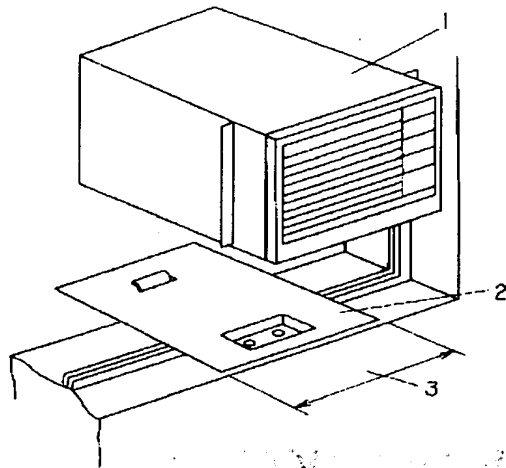
【図6】従来例を示す据え付け板の斜視図

【図7】従来例を示す据え付け板の斜視図

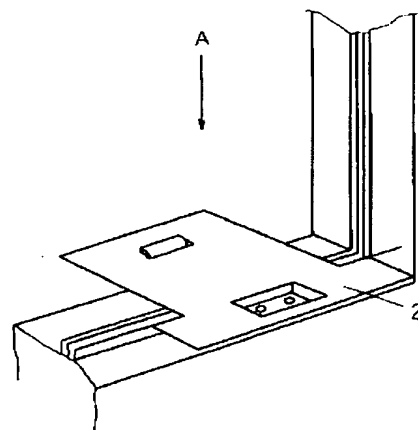
【符号の説明】

- 1 製品
- 2 据え付け板
- 3 据え付け板の巾
- 4 左右フレーム
- 5 窓
- 6 据え付け板後縁曲げ部
- 7 前縁曲げ部
- 8 窓枠前面
- 9 折曲げ部

【図1】



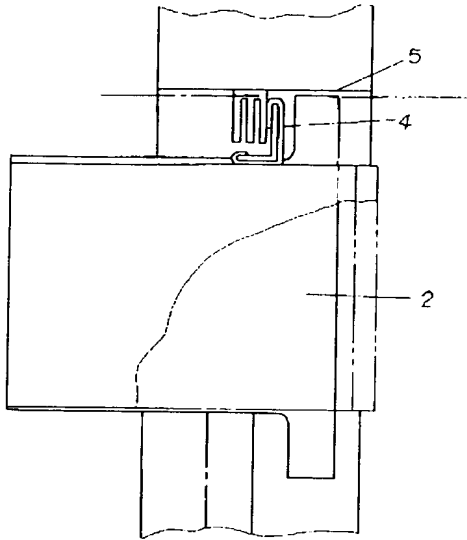
【図2】



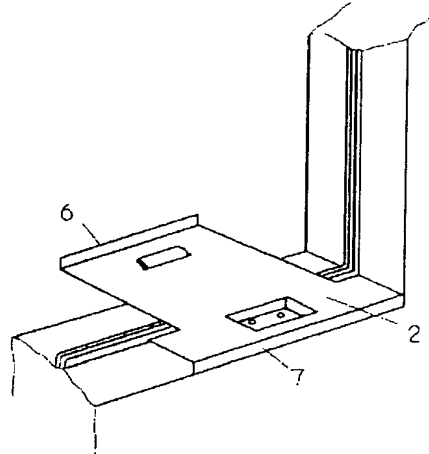
(4)

特開平8-219541

【図3】



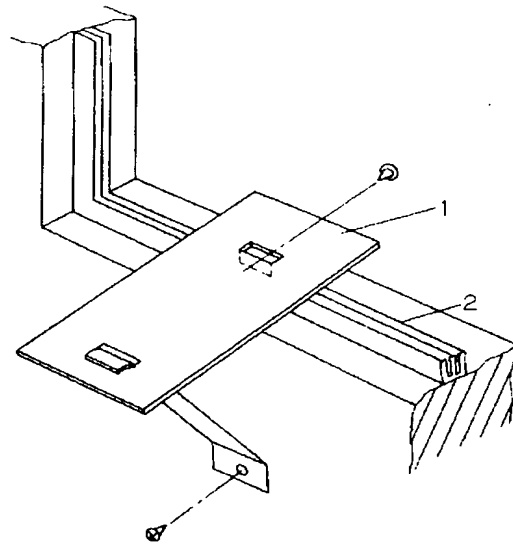
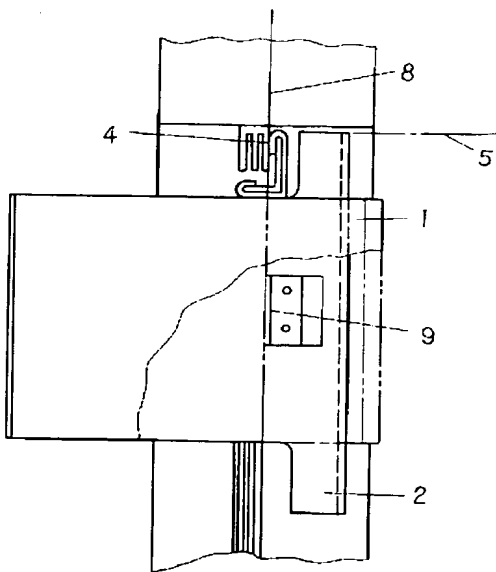
【図4】



【図6】

1 据え付け板
2 窓枠

【図5】



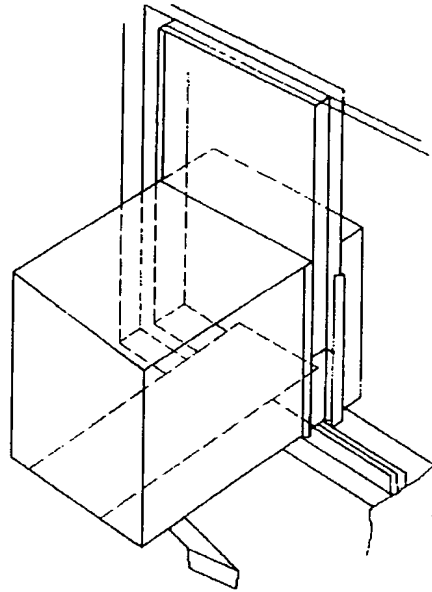
Best Available Copy

YOCID: <JP_408219541A_1_>

(5)

特開平8-219541

【図7】



THIS PAGE BLANK (USPTO)